

## 令和7年度第1回 大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会概要

- 日 時：令和8年3月25日（水） 16時00分～17時30分
- 場 所：大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 会議室5
- 出席委員：清水会長、天野委員、田島委員、三木委員、山本委員
- 事務局：府民文化部副理事、公園事務所所長 他

### I 開会

### II 議題

- ・大阪府日本万国博覧会記念公園における現在の取組について  
(事務局より大阪府日本万国博覧会記念公園の現況について説明)
- (事務局よりミヤクミヤク再会セレモニーについてについて説明)
- (事務局より太陽の塔の重要文化財指定について説明)
- (事務局より OSAKA LANDSCAPE AWARD 2025 第14回みどりのまちづくり賞について説明)
- (事務局より大阪府日本万国博覧会記念公園における入園料の改定について説明)
- (事務局より日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた中期アクションプラン概要について説明)
- (事務局より万博記念公園駅前周辺地区活性化事業について説明)

(清水会長)

1つ目の議題について、質問・意見をお願いします。

(山本委員)

入園者について、令和7年度の2月がとても割合的に高くなっているが、これは何か特別なことをしたのか。

(事務局)

2月21日にミヤクミヤクモニュメントの再会セレモニーが行われ、それ以降ミヤクミヤクモニュメントの写真を撮るために来園者が増えている。また、70年万博と大阪・関西万博のスタンプラリーを行っていることも要因と考えられる。

(山本委員)

アクションプランについて、中期アクションプランの中で数値目標として来園者数300万人を掲げており、あくまでこれは計算上のことと理解しているが、今年度、280万人を超える非常にたくさんの方にお越しいただいた中で、キャパシティ的にオーバーになるこ

とはなかったのか。非常にたくさん来ていただけるのはありがたいことではあるが、周辺の交通事情であるとか、あるいは混雑に伴う事故であるとか、そのようなことが起こってはいけないと思うが、そのあたりどうであったのか。

(事務局)

今年度は280万人に近い来園者にお越しいただいたが、今年度の場合は大阪・関西万博の影響で4月から10月にかけて来園者が平均的に多い状況であったが、公園のキャパシティを超えるであるとか、周辺の交通に影響を及ぼすようなことはあまりなかったと考えている。

(山本委員)

平均的に来てもらえるならばいいが、例えば芝生広場でフェスをやる場合などは、芝生が傷んでしまうこともあり、特に植物関係に関しては、一度痛むと回復に時間がかかることから、キャパシティと景観面も加味して色々と取り組んでいただきたい。

(三木委員)

将来ビジョン作成時は大阪・関西万博前であったので、ここまで具体的にどういう形で大阪・関西万博の効果があるのかとか、成功したのかということがわからない状態であったが、結果として非常に評判も良く、70年万博を見直される機会にもなっているので、少なからず将来ビジョンにも関係してくるものと思う。ヨルダンパビリオンの砂を持ってきたことなど、色々やっていると思うが、もっと積極的に大阪・関西万博と連携した方が良いと思う。まだ予定であると思うが、大阪・関西万博の記念館が建つということで、70年万博のノウハウもあると思うので、一体的なやり方が効果的だと思う。現状として、そういうことをどこまで考えているのかということと、4月1日から入園料を倍近く値上げするというので、それがどれぐらい影響を及ぼすと想定しているのかお聞きしたい。

(事務局)

大阪・関西万博の影響は大きいと考えており、今週の土曜日にヨルダンの砂のセレモニーを行う他、1970年大阪万博ビフォーアフター展など、大阪・関西万博と連携したイベントは指定管理者でも引き続き検討いただいている。来年度は、ミヤクミヤクモニュメントを5月末まで設置しているほか、様々なイベントを計画しているところである。

入園料については4月1日から値上げを実施するため、どのくらい影響が出るかまだ分からないところであるが、小・中学生の料金を無料にしたことや、キャッシュレス化等の魅力向上の取組やイベントの充実を図り、来園者数の目標が達成できるように努めている。

(三木委員)

現状、年間パスポートはどれぐらい売れているのか。

(事務局)

令和6年度でおおむね3,000件程度。

(三木委員)

どういう属性の人が買われたのか、どこにニーズがあるのか、そういうものを具体的に調査して、より満足度上げるようにしていってほしいと思う。

(田島委員)

1つ目に、来園者数300万人の目標設定について、公園の快適な人数は何人ぐらいだろうかと思いながら聞いていたが、積み上げ方式で考えているということなので、今後快適性についても検討していただきたい。ただ、スポーツ施設も含めて公園の管轄だと認識しているが、スポーツ施設の利用者の人数が入っていないのがもったいない。最近はスマホからでもデータが取れるので、いろんな視点で来園者数だけでなく、スポーツ施設の利用者のカウント方法を考えて、目標設定に入れてはどうかと思う。

2つ目に、スポーツ施設についての個別具体的な利用状況であるとか、その目標設定は実際どれぐらい明確にあるのか。また、どういったことを指定管理者の方に求めているのかという大阪府の方針を聞きたい。というのは、昔、リトルリーグの野球場があったこともあり、ジュニア層では聖地として万博を位置づけている競技もたくさんあるので、もっとスポーツを活用したブランディングという可能性もあると思う。

3つ目に公園事業の支出について、その他に記載の22.9億円の内訳を教えてください。

(事務局)

1つ目、スポーツ施設の利用状況は件数で把握しており、1件当たりの人数は概算となっている。その数字と自然文化園の来園者数を合わせて目標とするのは困難と思われる。

2つ目、スポーツ施設を運営するにあたっての目標は、まだ詳細に設定できておらず、今後検討すべき事項と認識している。

3つ目のその他収入22.9億円の内訳は、基金繰入金、一般会計繰入金、雑収入の3つである。

(田島委員)

自主事業等の収益の一部を公園の保全に使うというスキームは存在しているのか。ない場合、導入することは可能なのか。

(事務局)

自主事業の収益が上がった分について公園の維持管理やサービス向上などに使う仕組みは既に存在している。ただ、実際のところ自主事業は赤字であり、そこまで至っていないのが現状。

(天野委員)

ここ1、2年に園路の舗装を美装したほか、トイレをリニューアルするなど、具体的に来園者の方々に直結するところがリニューアルされたのは非常に喜ばしいことであり、今後、継続ユーザーを獲得するにあたり重要な政策であると思う。

老朽化してる案内看板をリニューアルすることについては、現状、公園の案内看板は数も少なく、多様な人たちへの対応までできていないという印象。そういう意味では単に看板を書き換えるだけではなくて量を増やすことや、書かれてる内容も少し工夫をしてほしい。理想的には地図を見ながら今どこにいるのか意識せずに、看板だけで、目的地に辿り着いたり、自然に一周できる形でエスコートすることが望ましいと思う。

入園料の値上げについては、他の国立の公園と同じような金額に設定することによって来園者数の動向を検証している事例があるのか、そういったことも参照してもいいと感じた。そのうえで、来園者数の数値目標について、あまり理由もなく、現状維持でずっと増え続けるであろうという想定のもとでKPIを設定するというのは違和感がある。入園料を値上げすることを克服するための理由づけのためにも、何らかの理由はあった方がいいと思う。

イベント時のオーバーツーリズム的な弊害については、公園の中というより、モノレールのキャパオーバーの方がむしろ懸念材料であると感じる。例えば、ある特定の時間に人が集まるような形でのイベント開催ではなく、少し時間をずらした形でのイベントの開催を指定管理者の方にお問い合わせするような形であるとか、入園料、入場者数を減らさずに、ピークを分散するというような考え方が望ましいと思う。

また、駅前周辺地区活性化事業の中でアリーナができるというのが非常に目玉となっているが、ここ1、2年ぐらいで大阪のアリーナ建設の動向というのはかなり急展開している。今1万人ぐらいを収容できるアリーナは大阪城ホールぐらいで、それでは足りないということで2、3ヶ所ぐらいは必要だ、という議論があった中ではあると思うが、万博記念公園のアリーナ計画が発表された以降も、森之宮にアリーナを建てるであるとか、IRの中にアリーナを建てるであるとか、それからクボタの本社跡地でアリーナ建設を考えていくという話もある中で、仮にそれが全部実現すると明らかに供給過多になってしまう。都心部に複数のアリーナができるようなら、ここ(万博記念公園)にわざわざ都心から来るような人たちの交通手段の充実も考えないといけない。アリーナは一例として申し上げたが、そういったことも長期計画や、中期のアクションプランの中ではもう少しマクロに今後を見据えていく必要がある。より俯瞰的な形でビジョンを設計することが必要と感じた。

(清水会長)

入園料の値上げについて、値上げ幅が大きいことから多少なりとも、特に初期においては来園者数に影響があるのかもしれないので、来園者に対してどううまく説明していくのか整理が必要。年間パスポートの値段も上がっている中、地域の方への配慮のような要素があまり見えない。中期アクションプランでも、日常利用の促進と書いているので、吹田市民への入園料改定の影響は見えていかないといけないと思う。アンケートを地域の方にとってこの金額になったのか、パブコメがあったのか分からないが、4月1日から実施するとのことなので、もし今後、地域の人が極端に減るようなことが出てきたならば、何か手立ては考えていく必要があるのかもしれない。

中期アクションプランについて、将来ビジョンを考え始めた頃には、現在のようにインバウンドによるオーバーツーリズム問題や、施設のキャパシティの問題がそこまで議論に出てなかったように思う。今更、将来ビジョンを変えるわけにはいかないが、そのような問題が出てくるかもしれないということは認識しておかなければいけない。

公園のキャパシティは、どれくらいが適正なのかということを含めて今まであまり議論したこともなく、来園者数の増加を視野に進んできたと思う。日常利用とイベントの時とは違うと思うが、地域の方からも、大きなイベント時には多少なりともクレームもあるので、どれくらいが適正なのか、今後考えていく必要もあると思う。

外国人来園者数は、これから増加傾向にあるのかそれとも横ばいなのか、もしくは減少するのか。それに伴って、インバウンドのあり方を考えていかないといけないと思う。このアクションプランの来園者数の数値目標のところに、KPIで初来園者とリピーター、日本人と外国人の内訳をどうするかは書かれていないが、これも考えていく必要があると思う。外国の方を識別するのは難しいと思うが、工夫しながらデータを管理し、割合がどう変化するかを見ていくことで、また新しい手立てができるのではないと思う。

また、大型イベントが他の会場に移行すると聞いており、その分の何万人かが減少する。やはり大規模イベントがなくなる影響はあると思う。

スポーツ施設の利用者について、施設利用者に関する数値がここに表れていないことはどうなのかと思う。公園全体としてアピールしていかないといけないと考える。政府もスポーツ振興を重要な政策と位置付けている。万博記念公園ではスポーツ施設の運営を継続しておこなっているのは誇れることなので、アピールをし、数字を出しながらブランディングしていくことが大事である。アクションプランの重点事項3にはある程度掲げているが、意識しながら今後も動いていただきたい。

- ・大阪府日本万国博覧会記念公園における今後の事業展開について  
(事務局よりアート&サイエンスフェスティバル2の実施について説明)  
(事務局より大阪万博開催当時の資料の電子化及び公開検討について説明)

(清水会長)

2つ目の議題について、質問・意見をお願いします。

(三木委員)

アート&サイエンスフェスティバルは、過去の膨大なデータを再発行してアーティストや事業者に活用してもらうことで、定期的に忘れないように検証することだと思っている。(令和7年度の夢洲会場でのイベントにおいて)これを大阪・関西万博に出したことは非常に良かったと思う。1,800人ぐらい来たものの、今回見られなかった人もいると思うので、定期的にやれば良いと思う。大阪・関西万博のコンテンツと70年万博のコンテンツを両方一体として見せていくために太陽の塔のマッピングを行うことと思うが、同じようにそのVRみたいなものも将来的には作って、大阪・関西万博の分野とも連動してやっていったら良いと思う。今後も「万博都市」という形で大阪をブランディングしても良いと思う。

アーカイブの電子化に関して、英語での検索とか、レンタルなどにも対応ができることを想定されているのか聞きたい。BIE(博覧会国際事務局)がフランスに本部を置いているので、フランス語と英語と日本語の三言語で様々な公式資料が残っているはずで、それぞれ電子化して見られるようにした方がよい。外国人の問い合わせ者のほとんどは、概要を知らない人が多い。公式資料の3巻セットと写真集があるにも関わらず、それ自体の存在を知らず、派生の資料しか知らないこともある。少なくとも国際的に見てもらえるように作った公式資料は、少なくとも日本語と英語も必ず公開してほしい。映像に関しては、開幕前に映画館で放映されていたプロモーションの映像があるはずで、それは70年万博の広報映像として非常に重要な資料なのでアーカイブ化してほしい。現在ならデジタル化すればAIを使用して様々な検索ができるようになるはず。世界的なブランディングとするためには外国語・外国人対応が必要と思うが、実施するのか。

(事務局)

外国語対応について検討させていただく。

(清水会長)

資料はすでにアーカイブ化し、一部公開されているのか。

(事務局)

デジタル化しているが、デジタルデータとして事務所の中に保管しているだけで、外に向けてインターネットなどで公開しているわけではない。公開はこれから実施していく。

(清水会長)

外国語対応や、PRの仕方など、委員の意見も様々であるので、審議会の意見も参考に方

針を出していただきたい。本当に貴重な資料であり、眠っていることはすごくもったいない。しかもこれがお金に変わる部分もあると思う。貴重なものを見ていただいて活用することは、この万博のレガシーを継承するとても貴重な機会だと思うので、力を入れていただきたい。

(天野委員)

アート&サイエンスフェスティバルは、イベントとしてこのレガシーをプレゼンテーションした後は、常に365日それを感じられるような形での演出や展示に発展していくと、レガシーを持続可能な形で継承していくことになると思う。

電子化アーカイブに関しては、この審議会委員の中でも、公開範囲を学術に限定してやる形にするか、広くオープンにするかについて、かなり意見がわかれており、そのバランス取りが非常に重要であると思う。基本的には、みんながSNSで拡散希望みたいな形で自由に公開できるようなことは避けるべきと思うが、ただ他方では、かなり学術的であるとか、研究用途限定、かつ、有償の形にするとせっかくアーカイブをお金をかけて作ったのに、誰もアクセスしないことにもなりかねない。著作権の管理というのは厳重にやるべきと思うが、広くレガシーを見据えて、万博記念公園のプロモーションなどにも積極的に活用されてはどうか。商業利用を自由にするというよりは、大阪府として公園のプロモーション動画とか、そういうところに70年万博の映像を使ってはどうか。70年万博当時のニュース映像などは今でも昭和レトロといった形で、若い世代からも関心を持って面白いと思ってもらえる時代ではあるので、そういうものを積極的にアーカイブとして公開するというのは、こんな楽しみ方が過去の記録としてあって、それを今こんな形で跡地が残っているので、そこでコンテンツを楽しめるんだよ、ということを伝えることができる。プロモーションムービーや冊子に対して、画像や映像を活用していくというような方策も考えていけると良いと思う。

(三木委員)

千里ニュータウンなど、近隣住民にとって万博記念公園は大きな存在。非常に安全に遊べるところなので、熱中症対策として、万博記念公園だったらある程度安全に休める場所は大体分かっているということで年間を通じて子どもや親子連れがかなり来ている。大阪の人たちや、あるいは吹田の人たちがここに住むと、万博記念公園に行つてそれを享受できるみたいなことは、強く打ち出してもいいのかなと思う。昔は個々の効果的なイベントができる場所として万博記念公園はあったが、今後はやはり地元地域に根ざした形でもっとメリットを享受できるような場所としてあった方がいい。万博記念公園があるからここに住みたいと思うような施策をもっと打つてもいいと思う。大阪府に住んでいる、あるいは吹田市に住んでいる人たちにプラスになるような形にする。今年からは無理と思うが、利用度を知るためにも、地域の人・大阪府民か、それ以外かはわかる形にした方がいいと

思います。

(事務局)

これまでのご意見を受けて、いくつかお答えしたい。1万人規模のアリーナがいくつかできるので、それらとの競合がどうなのかという話について。事業予定者と話をすると、吹田のアリーナは1万8,000人規模であるので、1万人規模のアリーナとは、対象とするコンテンツの棲み分けができると聞いている。

入園料の値上げについて、アンケートをとったのかという話については、直接市民の方にアンケートをとることはしていないが、指定管理者の方で2020年ぐらいに、来園者に対するアンケートを行っている。その中で入園料が500円になると、「もう行きたくない」みたいなコメントの割合が、非常に高かったという事実はある。当然値上げによって来園者が減ってしまっただけでは意味がないので、指定管理者とも協議のうえ、イベントなども頑張っただけでやっていくことで来園者数を増やしていくことを確認している。

公園のキャパシティについては、例えば音楽イベントや、花火のイベントなどをすると、近隣の皆様からいろいろなお声いただくという事実はある。イベントをどんどん増やして、来園者数の目標をどんどん上げていくことが本当によいのかどうかは今後議論する必要があると思っている。

外国人への対応については、入園チケットの券売機の言語選択により、割合を把握している程度であり、その割合は全体の1%ほどとなっていることから、外国人の来園者数をもっと増やしていくことが必要と考えている。

(清水会長)

昨年の大阪・関西万博は、世間の関心が高く、パビリオンに入ることができなかった方もたくさんいることから、今年に大阪・関西万博に関連するイベントを行うことはチャンスかもしれないので、色々な施策を計画していただきたい。

これで、今回の審議会を閉会とさせていただきます。

### III 閉会